

# なみ

3月号  
vol. 109



巻頭特集

にしなりの小遺産

# こいせん

「交通安全に気を付けましょう。」  
南開1丁目長橋第2保育所にて撮影

# にしなりの小遺産 こいさん

にしなりのまちの遺産を発掘していきます。歴史や地域が育てたのは建築物や遺跡などだけではありません。人も大切な遺産なのです。わたしたちはそれを小遺産（こいさん）と呼び、まちの小遺産を発掘しつづけます。

こいさんプロジェクト・若松司／西田吉志／佐々木敏明

## こいさんとの遭遇

03年の頃だったか、筆者は野宿者らの仕事探しのため、企業B社に就活をはじめていた。しばらくしてB社の事務方として入社した難波さんを紹介された。その頃、私は失職者が働く花屋さんづくりを構想していたが、08年、たまたま(株)ナイスが発案者となり、萩之茶屋にある空き家を賃借

した。有限責任事業組合（LLP）が設立され、民家をリノベーションして花屋Bonが開店する。その店長としてB社から難波さんが赴任した。

私の事務所と花屋さんは近距離で、時折は彼女のエピソードや、釜ヶ崎界限の事情を聞くにつけ、実は、彼女こそがカマの最前線だと思いはじめた。日雇労働者にとつて、支援者とは非対称な存在であり、ある意味では束縛や従属を強いる存在とも映る。彼女は

花屋というだけで、別に福祉を看板に背負うわけではなく、もちろん支援者でもない。花を買いに来るおっさんたちの難波さんへのハードルはごくごく低く、その後のカマのチャリダーとして、姉ごな難波さんにはうつつつけの仕事場だった。

男社会の支援者らにはない包容力ある難波さんを頼りに、私たちは日常の息づかいを素直に伝えにくる。地域の応援団として存在感を示す難波さんだが、しかし難病も抱えていた。どんなことにもひるまない店長に無理をお願いし、こいさんに登場してもらった。

## だれにも頼らない

「豊かな家庭環境ではあったが、学科は全く苦手。しかし琴の演奏や、珠算など習い事はなぜかいつも一番だった。中学2年生頃からグレしていく。派手な茶髪で

登校したり、喧嘩をして停学を受けたりした。高校卒業時には銀行へ就職の話もあったが、早く結婚したかったので断ってしまった。当時は母親への反発もあったと思う」と話している。

その後、玩具会社に就職。「面接の時には真っ黒に染めた髪を、初出勤日にはもとの茶髪に戻し、あの子は誰やと言われた。しかし社長には可愛がられ、経理を経て、社長秘書までさせてくれた。しかし、ほどなくつきあっていた極道の息子と結婚した」。この結婚式は華々しく、ラジオやTV番



1989年25歳の頃、長女と



## こいさん ⑧ 難波ひと美さん

難波さんは1964年、大阪府柏原市内で生まれた。生糸を生産する両親の一人娘として育った。経済的には潤沢な環境で、お嬢さん育ちとして友人にも恵まれ、何不自由なく過ごしてきた。その後、数奇な人生に遭遇。ある時日雇のまち釜ヶ崎で、花屋「Bon」の店長として活躍をはじめた。『なび』の連載「ある日のBon」でおなじみの「こいさん」だ。



(上) 花屋「Bon」の店頭 (下) 店頭を飾る季節の花々



花屋「Bon」スタッフたちと



(左から) 1990年 ラウンジでナンバーワン、93年 春うららの難波さん、93年 冬の旅先で

組などメディアが押し寄せ、報道もされて柏原市の人たちはみんな彼女を知っていたらしい。

それでも2年後には離婚。「子どもを自分で育て、酒が好きなどから、知り合いのラウンジで30歳までは水商売で頑張っていたと決心した。その店ではナンバーワンを維持。私がナンバーワンになったのは、モテる男が対象ではなく、モテないおっさんたちを相手にしたから。金持ちや、男前はつつけんどんだし面白くない。今もカマのおっさんたちとつまく話が出るのも、この時期の難波さんの修行の結果かもしれない。

それにしても「娘が小学校に入学する際、20人の男たちからランドセルのお祝いがあった」というのを聞いて、難波さんの超絶な面白さと、「母子家庭であり水商売をしていることもあって、子どもがいじめられたのを契機に、私学に行かせた。そして、どんな悩みや苦しきも人に相談したことは

なく、いつでも、なんでも自分で解決してきた」と話す強さは、人に弱みを見せない難波さんの魅力となっている。

## 生活保護なんかいらん

難波さんは「人間は暇をもてあますとロクな人間にはならない。自分の娘たちには、ミヤコ蝶々らが主宰するお芝居の子役などをやらせ、毎日毎週習い事で暇にさせなかった。自分もジツとして



1996年 2人の娘たちと一緒に

られない性格なので、家の中で一家団欒などする場も作らなかった」と言っただ。

水商売を辞めたあとは、二人の子どもたちを育てていくが、難病であるパーチエット病を患い、働くことが辛い身体になっていく。「力仕事、無理な仕事などは駄目だといわれたが、母子手当を子どもたちの学資に回し、派遣労働などで働き続けた。生活保護などは受給しようとも思わなかった。外側はリッチに見せ、中身は貧困という見栄そのものだった。が、なにも無くとも有るという気持ちでいつも大事にしていた。

## 応援のみなもと

この後の難波さんの行き着く先がB社での正規社員であった。数年間は事務方であったが、Bon開店時に店長として新たな仕事を引き受けた。「カマと聞き、最初は怖いし臭いし、毎日店のス

タッフに、新今宮の駅まで送り迎えをしてもらった。徐々にこの町に慣れはじめていく頃、或る男から「こんなところで花売れたら俺の指つめたる」と言われる。そんな指いらん言うたけど、最近その男が「あの時は悪かった」と謝ってくれた。また近所の有力者から無視されていたが、5年たち向こうから挨拶をしてくれるようになった」と話す。また「難波ちゃんがここで仕事やってるから、来るようになったんや」と、これまで話もしてくれなかった人たちが集まりはじめた。

「何が嬉しいゆうて、認めてくれたというか信じてくれたいうか、こんなが一番嬉しいな。花屋の売上げが上がればもったいないけど、ここで8年間やってきて、西成の母なんて言われ、やっと人にほめてもらうことが出来た。しかし、それは彼女の凸凹人生こそが、人間への優しい視線や共感を養う源泉であったと思いたい。故郷の不和になった兄弟たち

との間を取り持って和解させたり、花屋に来る男たちの金を無理やり貯金させ、必要な時に使えた喜びを語らせたり、傷害で刑務所に入っていた男が「ママ帰ってきたで」と店に入ってくるなど、店長の声や知恵を求めてくる男たちがいる。失敗を失敗とせず、カッコ悪さを晒す姿勢に男たちは共鳴する。自らの人生の浮き沈みをもとせず、正義を振りかざす支援者の体裁が無い代わり、必要なときは、その男たちを陰日向で応援する難波さんの腕力が素敵だ。これからは、西成の母、自身も身体を労わらないといけない。

文責：佐々木


  
 住所：大阪市西成区 萩之茶屋1-12-16
   
 電話：06-6634-0878
   
 営業：9時～16時30分
   
 休み：土・日・祝

# きんこんがんこん

子どもたちを育むには、学校と家庭に加え地域の役割がとても大切です。ただ、学校がどんなことをしているのか知っている人は意外と少ないのでは？ということで、これから学校の様々な出来事や取り組みをお知らせしていきます！

## 9時間目：今宮工科高校定時制



授業の様子1



授業の様子2

**定時制高校にインタビュー**  
 前回、今宮工科高校の取材で自分の知らなかったことをたくさん発見することができました。そして、よく考えると定時制高校についても何も知らないなと思ひ、今宮工科高校の定時制に取材に行き、准校長の森村先生に話をうかがいました。

ゆつくり・いいねいを求める生徒が訪れる

一昔前には、地方から「金の卵」として集団就職に来た生徒が多数を占めていました。現在は、人数も少なく手厚く対応してもらえらるということで、集団生活になじめずに引きこもっている子どもたちが、定時制高校を選択することが増えてきています。もちろん働いてから、高校の資格を取得したいということで学びに来る生徒もいます。過去に

いろいろやってるで！今宮工科高校定時制



夕方から始まる定時制高校

は定年退職後、高校を卒業したいということで、通学した70歳の方もいました。その方は卒業後に学校のために使ったほしいと書籍を寄付されました。生徒のほとんどが10代ですが、まれに年配の方が来られた場合のクラスは落ち着いた雰囲気になります。

### 3年間で卒業も可能になっていた

定時制高校は始業時間が午後5時55分なので、45分授業を4コマ行くと終業時間は午後9時10分になります。全日制と比べて1日の授業数が少なくなるため、卒業までに4年を要します。しかし、全日制に通う同学年と同じ3年で卒業したいという生徒が多いため、通信制レポート提出などを行うと3年で卒業できます。

また、10年程前に天王寺高校や今宮高校の定時制が閉校したことから、工科高校でありながら普通科教育も行われています。しかし、座って話を聞くのが苦手な生徒も多く、そのような生徒はものづくりの専門系を希望します。語学



(上) 大阪大会で準優勝した野球部  
(下) 生活体験発表大会に大阪代表として参加

については韓国、朝鮮語のコースがあるのが特徴です。中学校で英語の授業が苦手だった生徒も、このコースではみんな一斉に1からのスタートとなるため、スムーズに学べます。1年は3クラス、2・3年は2クラス、4年は1クラスですが、途中で辞めてしまう生徒も少なくはありません。

### スポーツや文化活動でも大活躍！

クラブ活動は4時間目終了後の約1時間ですが、活発に行われています。直近の話では軟式野球部が大阪高校総合体育大会で準優勝し、そのうちの5人が大阪選抜に選ばれました。試合が日曜日に行われると、仕事の都合で出場できなくなるのが定時制高校ならではの悩みです。サッカー部は近年、人数がそろわず、フット

サル部へと変わりました。

また、ある生徒は、全国高等学校定時制通信制生活体験発表大会に大阪代表として参加して、「厚生労働省職業能力開発局長賞」を受賞しました。発表の背景にあるのは普段から行っている授業の成果です。その授業では、NPOなどで活躍されている方々から「虐待を受けた」、「いじめを受けた」、「単身で海外へダンス留学に行った」といった体験談や現場の話をうかがいます。それをきっかけに、その生徒は自分の過去を振り返り、将来について考えていたのでしょう。

### まだまだ載せることはあるのですが

全てを掲載していませんが、制服がないため卒業式はほぼスーツだとか、まだまだ書き足りませんがスペースの都合で。最後に、准校長から一言。「もし進路に悩んでいる中学生の方がいれば、一度今宮工科高校定時制を見学に行ってください。」

「きんこんかんこん」ではこれまで「学校」をテーマにしてきましたが、次号からは学校からやや離れて、それを取り巻く教育関係の地元団体や活動などに視野を広げ、掘り下げていきます！  
 レポート…寺嶋公典

【寺嶋公典】三女の進路が決まるまでヤキモキしていた。決まってホッとしたが、遠方で寮生活をするので年に数回しか会えなくなるので、とたんにさみしくなった。感情が一瞬でかわるもんだと実感。



# ナイスな仲間たち

「なび」をつくる(株)ナイスは、地域での取り組みも、社会に向けた取り組みもいろいろ。多様につながる実践を紹介していきます。

## VOL.24 にしなり隣保館 スマイルゆ〜とあい



2016年1月9日にオープンしたにしなり隣保館「スマイルゆ〜とあい(以下ゆ〜とあい)」には、子どもからお年寄りまで連日多くの方が使用しています。ゆ〜とあいは、社会的に困難を抱えた人びとに館を利用してもらうために、三つのテーマを設けて事業を実施し、その中で次代の地域社会を担う「人づくり」を目的に建設されました。今回はそのテーマのひとつである「居場所づくり」に注目してみます。

### 行政がしないなら 自分たちで実践する

そもそも西成区北西部の地には、先人たちの運動が勝ち取った同和対策事業により、西成解放会館(1970年)、延寿荘(1974年)、西成青少年会館(1981年)が建設され、地域住民の総合生活相談や居場所提供などの「隣保事業」を担っていた。しかし2009年3月、大阪市は財政難や「同和地区を」特別扱いしない」という方針に沿って各施設の条例を廃止した。その後、解放会館・延寿荘・青少年会館の3館を1館に統合するとして、2010年4月に「大阪市立市民交流センターにしなり」として出発するが、その交流センターも2016年3月末をもって廃止される。住民同士の交流が薄れる社会の中で、つながりをつくる居場所が必要とされているにもかかわらず……。結局、大阪市のいう「特別扱いしない」は「何もしない」ということに等しい。住民たちの拠点となる居場所が必要であるに



(左)講師はボランティア元気体操 (右)閉店後の喫茶なびは子ども達のたまり場

もかわかわらず、行政が何もしないから何もできない、という訳にはいかない。そこで、部落解放同盟西成支部、ヒューマンライツ福祉協会、株式会社ナイスの3団体が協力して6階建のパークコートを建設し、その1・2階をゆ〜とあいが居場所事業として運営している。

### 様々な人たちが賑わう居場所

ゆ〜とあいにとつて居場所とは、自宅・職場・学校以外に集える場をつくることだ。昼の時間は、自宅に引きこもりになりがちな高齢者がスポーツや趣味活動に打ち込んでいる。夕方には学校を終えた子ども達や不登校状態にある子ども達が宿題や遊びにきている。夜になると、仕事を終えた若者が愚痴を言い合ったり気兼ねなく相談できる場を提供している。ゆ〜とあいに自然に人が集まってくるのは、1階にある「喫茶なび」の存在が大きい。毎日コーヒーを飲みにきたり、友達とふらっと立ち寄って会話を楽しんだり、と使い方は人それぞれであるが、連日多くの人で賑わっている。



(左から)卓球する子どもたち、毎週火曜日に活動する社交ダンスサークル、お昼時の喫茶なび風景

「喫茶なび」で、ある日こんな光景を目にした。喫茶のコーヒーを飲みを訪れたお客さんがカウンター席に腰をおろし、何気ない会話からスタッフに「○○で困ってるねん」と話をしている。それを聞いたスタッフは「△△に行ったらいいよ」と丁寧に対応していた。こんなふうに、コーヒーを飲みながら気軽に相談できる場にもなっているようだ。

また、平日の夕方と土日の昼の時間にゆ〜とあいを訪れる子どもたちが増えている。子どもの利用が増えるのは良いことだが、見守る体制の確立など今後の課題も多い。

施設の建設が事業のリスクになりかねないこの時代に、あえて新たな施設を建てるのも、あらゆる世代が集い活動できる拠点が地域に必要と考えるからだ。館長の寺本良弘さんは「ゆ〜とあいがこの街に暮らす人達の心と体のオアシスになることを願っている」と言っている。

### にしなり隣保館 スマイル ゆ〜とあい <http://www.s-you-i.jp>

所在地：〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番9号  
パークコート 1F・2F  
TEL：06-6561-8801 FAX：06-6562-1221  
休館日：年末年始(12月29日～1月3日)のみ

開館時間：午前9時30分～午後9時30分  
アクセス：JR大阪環状線今宮駅から徒歩10分  
地下鉄四ツ橋線花園町駅から徒歩15分  
Facebook：www.facebook.com/syoutoi/



[谷口円]映画を作るワークショップに参加してきました。その日出会った人達と3時間くらいで配役を決めストーリーやセリフを考え、撮影まで。新しいコミュニケーションの形を体験した気がします。



[田岡秀朋]年末から青森・弘前市にちよくちよくお邪魔しています。岩木山の麓にはリンゴの樹が広がり、生産量はなんと全国の25%。いまは雪ですが、桜を楽しみにひとふんばり。



[沖田一志]子どもの成長って本当に速いですね。小学校に入学したと思ったらもう卒業です。ベタな表現ですがまさにその通りです。時間の流れがますます速くなることを実感します。



[飯島照喜]株の乱降下による経済の先行き不安、政治の不祥事による混乱、世の中はすでに春一番が吹き荒れています。“なび”の春一番は4月からのリニューアル、期待と不安に胸が膨らみます。



### 今月の花：カランコエ

花言葉「幸福を告げる」  
「たくさんの小さな思い出」  
「あなたを守る」  
マダカスカル島産の多肉植物で肉厚な葉に水を貯めることのできる植物です。



週に1度来る熊本県生まれの56歳の人が、一枚の手紙を持ってきました。お父さんが亡くなったお知らせとお兄さんの電話番号が書かれていました。すぐにかける様にいましたが、15年間連絡をとっていないらしく、戸惑って連絡しませんでした。おせっかいだけど、私がかけてました。本人に代わり、涙を流しながら兄弟話をしていました。和解できたらしく、「ありがとう」って言ってもらい、心の底から良かったとおもいました。「肉親はやさしいよこれから仲良くしてね。(なんぼひとみ)

hidarimaki

# ぼの細道



極私的  
孤独という至福に遭って冬籠り  
去年今年  
初詣占いの釣り養銭に

戦後清算  
春未だすめらぎだけが負う苦界  
強欲な特権  
猿まわし生保またじろぐ政活費

先日水俣から便りが届きました。水俣のチソン公害から60年の年月が経過したという知らせでした。沖繩をおさなりに、今なお東北をも棄民化させるこの国の歴史の相似。

# い湯かげん

## 5歳児教育費無償から共生の教育を

大阪市吉村新市長が、5歳児の教育費の無償化を打ち出して、話題になっていく。幼稚園児1万人は全額無償、保育所1万人は教育分ということで約半額無償で、財源は25億円だそうだ。開始時期は今年4月とスピードで、将来は3歳児まで引き下げる意向だという。議員でもある地方都市の知人は、「若者の帰郷、移住に幼児教育の無償化は必須だが、大都市が先行するとは大したものだ」と絶賛していた。もちろん、ボクも賛成だが、ちょっと注文もある。

この新制度は認可外保育所や幼児教育校には及ばない。大阪市には226か所の認可外施設があり、5歳児だけだと約500人が通っている。にしなり隣保館と同居しているインターナショナルスクール・スターブレインズ大阪校もその認可外の一つだ。在阪の外国人や様々なルーツを外国に持つ人々が、母国語で学ばせたいと思うのは当然であり、高負担でも国際化を進取したいと希む日本人を賛沢だとも言い切れない。「徒に認可外を増やす」というのが、大阪市側の消極論の論拠になっているそうだ。

その一方で、国会では超党派の議員で、不登校の子どものためのフリースクールでの学習を、「個別学習支援計画」の可否判断のうえ、義務教育の制度内に位置づける

という法案を準備していた。しかし「かえって不登校を増やす」との反対論があつて、今国会の上程を見送ったそうだが、残念だ。フリースクールの義務教育編入も、認可外幼児教育の無償化も、要は教育の多様性を認めるの可否かが争点だと思ふ。すかさず橋下さんは、義務教育から教育無償化へ憲法を改めると飛躍させたが、改憲はともかく、注目に値する論だ。

ボク達の時代の無償論は、貧富による教育格差是正だったが、それが多様性を認めるための無償論へと発展していることに、激しく共感する。もちろん、教育格差そのものが新しい格差として増大している現実もある。しかし「二兎を追う」ことはまったく矛盾しない。福祉法人の知人は、主体者の決断を支え、環境を整えていくのは福祉では今や当たり前になっているのに、教育には国家統制が強すぎるのかと言っていたが、ストーンときた。また、橋下市長時代は、民族学校への助成には消極



㈱ナイス代表取締役  
富田一幸

---

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。



# ピースのつぶやき

『またね!』  
8年間愛用していたリュックサック。  
たくさんのつぶやきが詰まったリュックサック。  
喜怒哀楽を一緒に感じたリュックサック。  
思い出がいっぱい染み込んだリュックサック。  
でも少し汚れが目立つようになったかな?  
晴れた日に洗濯してねお母さん。  
リュックサックが綺麗になるまでピースのつぶやき、しばらくおやすみ。  
またつぶやく日まで待っててワンワン  
赤井まゆみ

永い間「ピースのつぶやき」を愛していただきありがとうございました。3月号をもちまして、ひとまず終了させていただきます。またの日に、皆さんとピースが会えるよう! (編集部より)

[安田拓也] 早い。1月が終わり、2月が過ぎ、もう梅が咲く。去年の今頃は楽塾で伊勢旅行に行つて一段落している頃。今年は「吉野」と近場だけど、味のあるまちでとても楽しみです。

[西田吉志] 最近、ゆ〜とあいを利用する子ども達の中に「男前の人」と呼んでくれる子達が居ます。それは大変ありがたいし、嬉しいことですが、街中で呼ばれた時の反応に悩んでしまうので早く名前を覚えてもらおう。

## 現代風の井戸端会議

### 第19回フォーラムにしなり

2月2日にスマイルゆ〜とあいにて「第18回フォーラムにしなり」が開催された。

第1部では、元衆議院議員の服部良一氏から、昨年成立した安保関連法の問題点や沖縄の基地問題などについて学んだ。続いて、第2部では小林みちひろ前市会議員がこの4月から大阪市が実施を予定する「5歳児の教育費無償」について説明。50人を超える参加者が様々な視点で意見を交わした。

### 【戦争法廃止・基地移設阻止・改憲阻止】

昨年はいわゆる戦争法の反対集会が全国的に繰り広げられたが、秘密保護法は成立。また、武器輸出3原則や集団的自衛権など、来年4月に憲法改正の国民投票を実施するのではないかとされている。一方で普天間基地の県内移設反対など沖縄の基地をめぐる問題は山積みになっている。いずれにしても、今私たちは歴史の重大な転換期にあると考えて今後も注視していかなくてはならない。

### 【5歳児の教育費無償】

今回のポイントは大きく3つある。①ずっと5歳児に限定されるのか、②所得制限の必要性は？③無認可事業所は対象外。大阪市の把握しきれないとして無認可の事業所は無料化の対象外となっているが、多様化するこの社会の現状と一致しているか不安なところである。また、西成でも今年4月から無認可のインターナショナルスクールの開校が予定されている。



服部良一  
元衆議院議員



小林みちひろ前大阪市会議員

### 次回フォーラム

日時: 3月7日(月)午後6時30分～  
ところ: にしなり隣保館スマイルゆ〜とあい  
テーマ: 新市長の予算編成  
ゲスト: 武直樹大阪市会議員

## あとがき

半年の助走・移行期間を経て、来月号から編集コンセプトやレイアウトなどが大きく変わるはず。

だが、この編集部は良くも悪くもまとまりがない。「誰」に向かって「何」を発信しようとしているのか。本誌の発行に意義を感じているだけに、その行く先を案じてしまう。単なる自己満足に終始しているのか、読者の方々はどう思うわれているのだろう。

(若松)

なび3月号(vol.109)  
発行日: 2016年3月1日(創刊日: 2007年1月1日)  
発行: 株式会社ナイス  
発行人: 代表取締役 冨田一幸  
印刷: 有限会社前山企広  
住所: 大阪市西成区長橋3-6-33 電話: 06-6563-1156  
E-mail: info@nice.ne.jp  
url: http://www.nice.ne.jp/

編集長: 寺嶋公典  
編集: 飯島照喜、沖田一志、佐々木敏明、岡田秀朋、西田吉志、安田拓也、若松司(あいうえお順)  
イラスト: hidarimaki デザイン: 谷口元